

平成30年度 後期卒業式 式辞

夙川を渡る風に春の訪れが感じられる今日の佳き日、PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の方々のご隣席を賜り、ここに平成30年度兵庫県立西宮香風高等学校後期卒業証書授与式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました173名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員、在校生一同、心よりお祝いを申し上げます。

本校に入学してから今日までの日々には、くじけそうになったり、投げ出したくなったりする日もあったことと思います。しかし、皆さんは諦めることなく頑張り抜き、こうして卒業の日を迎えました。これまでの皆さんの努力に対して、深い敬意を表したいと思います。

保護者並びにご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様の成長を願って、これまで支えてこられました皆様には、さぞやご苦勞もおありだったことでしょう。立派に成長された本日の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。また、これまで本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に対し、この場をお借りいたしまして、深く感謝を申し上げます。

さて、本日、西宮香風高校を巣立っていく皆さんは、多くの高校の中から本校を選んで入学した理由も、学校で過ごした時間の長さも、将来の夢も、それぞれ異なります。しかし、定時制高校である本校の学校生活の中で、個性豊かな友や

先生と出会い、多様な価値観の存在に気づき、自己の考え方や行動を振り返りながら、人間的な成長を遂げられたという点では、共通しているのではないのでしょうか。

今日、「卒業」という新たな出発点に立ち、自分の夢に向かって大きく羽ばたこうとしている皆さんに、3つのこととお話ししたいと思います。

ひとつは、学び続けてほしいということです。今、A I技術の急速な発達により、自動運転の実証実験が行われたり、音声認識や手書き文字の認識など日常生活でも情報化が進んでいます。また、少子高齢化を背景とした労働力不足が深刻化する中、外国人労働者の受け入れを拡大する新制度がこの4月からスタートします。このような情報化やグローバル化の波は、これまで私たちが経験したことがないスピードで、日本社会に変化をもたらすと言われていています。未来を生きる皆さんは、学校で身につけてきた知識や技能だけでは対応できない問題に、きっと出会うことになるでしょう。だから、学び続けてください。人間にはA Iにはないすばらしい力が備わっています。それは、よりよい社会や人生を思い描く力です。自分がどのような未来を創っていくのかを心に描き、その実現に向けて歩み出そうとする時、「学び」は皆さんの現在と未来を繋ぎます。そして、ひとりひとりが学び続ける営みが、自分の夢の実現だけでなく、未来の共生社会を創っていくことになるでしょう。

ふたつ目はチャレンジする勇気を持ってほしいということです。「新しいことに挑戦する自分」「困難に立ち向かう自分」「粘り強くあきらめない自分」に誇り

を持ってください。ささやかなことでも構いません。勇気を出してチャレンジしてください。もちろん、うまくいく時ばかりではないでしょう。しかし、失敗を恐れて何もしないとしたら、私たちは成長することはできません。失敗したら、「なぜ失敗したのだろうか?」「次は、こうしてみようか」と考え、工夫してみてください。あきらめずにチャレンジし続けるあなたの側には、あなたのことを温かく見守り、応援してくれる人が必ずいます。失敗を恐れず、自分と自分を応援してくれる人を信じて、夢に向かって一步踏み出してください。

最後は、幸せな大人になってほしいということです。何が「幸せ」なのかは決まっていません。「幸せ」の形は人それぞれです。あなたの人生を「幸せ」と思うのはあなた自身です。周りに流されず、周りに合わせすぎず、迷った時や悩んだ時は、自分の気持ちを自分自身で、ていねいに聞いてみてください。皆さんの人生の主人公は皆さん自身です。どうか自分を大切にし、そして幸せな人生を送られることを心から願っています。

卒業生の皆さん、名残は尽きませんが、お別れの時がきました。皆さんひとりひとりのご健康と未来に幸多きことをお祈りして、式辞といたします。

平成31年3月2日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子